

平成30年度

子ども議会 答弁書

1 ウエルシア栄町店から沼田脳神系外科に向かう通りの道路の途中の大きな十字路にはまだ信号機が設置されていません。早めの信号の設置や歩道の安全を確保することが必要と思うが、市の考えをおしえてほしいについて

おおかわらそらみ
ただいまの大河原空弥議員のご質問にお答え申し上げます。

ウエルシア薬局栄町店東方面の環状線交差点における信号機設置の件について、であります。この交差点部分を含む道路は、平成30年7月に工事が完成となり、その後、暫定開通に至っております。

沼田市内の信号機については、群馬県公安委員会にて設置を行うものであります。工事を実施するに当たり、この交差点においても早期に信号機が設置されるよう、平成29年8月に群馬県公安委員会へ道路工事に関する意見を聴取させていただき、所轄の沼田警察署には平成30年1月に信号機の設置について要望書を提出しております。

その後、幾度となく協議を重ねて来た結果、10月17日に群馬県警察本部と現地において、信号機の設置可能位置及び歩行者数や交通量などの聞き取り調査を実施したところであり、早期の設置に向け一

歩前進したものと考えております。

以上申し上げまして、^{おおかわらそらみ}大河原空弥議員のご質問に対する答弁とさ

せていただきます。

1 高齢者と小中学生の交流事業について

ただいまの星野叶羽議員のご質問にお答え申し上げます。

高齢者と小中学生の交流事業についてであります。星野議員のご指摘のとおり、子ども達が高齢者と触れあう機会を増やしていくことは、子ども達が地域の実情を知り、高齢者の介護やケアに関心をもつ意味でも大切なことであると考えております。

各学校では、総合的な学習の時間の中で、地域の介護施設等を訪問し高齢者と交流を深めたり、運動会にお招きして小中学生の真剣な取組を見ていただいたり、部活動の一環で、吹奏楽部が施設を訪問して演奏を聞いていただいたりしており、年間を通して計画的に高齢者と交流する教育活動を進めております。

今後も、子ども達が、高齢者と交流する機会を大切にし、各学校での取組の充実と、併せて、本市として子ども達が高齢者と触れ合う機会のもち方について、研究を進めて参りたいと考えております。

以上申し上げまして、^{ほしのかなう}星野叶羽議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 台風や豪雨災害の対策について

ただいまの 小林 ゆう 議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市では、災害発生時における円滑な防災活動が行えるように各地域持ち回りで、年1回地域防災訓練を実施しています。

また、隣近所の人達が協力し助け合い、町や地域の安全を守る防災活動を行う自主防災会の設立を進め、連絡方法や避難場所の確認など地域ぐるみの防災活動を自主的に行うことによって、災害発生時に隣近所の人たちが、安全に素早く避難できる組織づくりを進めています。

なお、市では、自主防災会の活発な活動を支援するため、防災講座や防災訓練等の活動支援も実施しています。

防災の基本は、自分の身は自分で守るという「自助」ですが、自分一人では限界がありますので、その場合には、家族や地域コミュニティーで助け合う「共助」が大切となります。そのほか、避難所の開設や災害復旧など行政が行う「公助」があります。

防災対策として、この「自助」「共助」「公助」がバランス良く機能することにより、被害を最小限に抑えることが出来ると考えています。

以上申し上げまして、小林^{こばやし} ゆう 議員のご質問に対する答弁と

させていただきます。

1 沼田市の18歳選挙への取組について

ただいまの^{しおの}塩野 ^{ゆうな}結菜議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の18歳選挙への取組について、であります。選挙管理委員会や明るい選挙推進協議会の皆さんを中心に選挙啓発活動を行うとともに、群馬県選挙管理委員会と協力し、市内の高等学校において、架空の知事選挙等を想定した『模擬選挙』を、また、主権者教育の一環として、小・中・高校生を対象に、選挙管理委員会の職員が学校へ出向いて行う『選挙制度出前講座』などを実施しています。

また、小・中・高校生の皆さんに政治や選挙に対する関心と意識を深めてもらうため、毎年、「明るい選挙啓発ポスターコンクール」を実施するほか、実際の選挙で使用する『投票箱』や『投票記載台』、^{ほか}その他選挙の開票作業に必要な物品の貸し出しを行い、児童会・生徒会の役員選挙等に活用していただいておりますので、是非、薄根中学校でもご活用いただければと思います。

また、若者の選挙に対する啓発活動や選挙への関心を高める工夫についてですが、来年は、統一地方選挙として、4月に群馬県議会議員選挙と沼田市議会議員選挙が、7月には群馬県知事選挙と参議院議員通常選挙が行われる予定です。こうした選挙が行われる際には、「広報ぬまた」やチラシなどにより選挙制度などについてお知らせをするほか、FM-^お^ぜOZE、ホームページ、広報車などを利用して投票を呼びかけています。更に、10代、20代の若年層の年代の方を対象に、SNSなどを活用し情報発信を行うほか、沼田駅前において、通勤・通学をする方を対象に選挙啓発チラシなどの配布も行っています。

最後になりましたが、小・中・高校生の皆さんが選挙に関心を持つことは、とても重要で素晴らしいことでもありますので、^{しおの}塩野議員のように若いうちから選挙に興味を持つ方が一人でも多く増えるよう、様々な啓発方法をこれからも検討してまいりたいと考えています。

以上申し上げまして、^{しおの}塩野 ^{ゆうな}結菜議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 鳥獣保護と農作物の災害との関係

ただいまの なかじま 中嶋 はるか 日香議員のご質問にお答え申し上げます。

野生鳥獣の保護や適正な管理については、鳥獣保護法に基づいて行われております。多くの生息が見込まれるイノシシ・ニホンジカ・ニホンザルについては、共存を図るために群馬県において適正管理計画を作成し生息区域や生息数を推計し、捕獲目標を設定し捕獲を行っているところであります。

野生動物については、山林が荒廃し動物の餌が不足する中、市街地周辺の里山に生息域が拡大し、農作物への被害が増加していると考えられます。野生動物の侵入を防ぐために電気柵を設置する作業は大変な労力が必要であると思います。

なかじま 中嶋議員の提案にあります野生動物との共存については、野生動物が本来生息すべき区域である山林内で生活出来るような環境となることが望まれることから、山林所有者による森林整備を推進するとと

もに森林環境の一層の保全を図り、緩衝帯整備等を推進し、集落・市街地への出没と生息域拡大を抑制することも重要であると考えております。

以上申し上げまして、^{なかじまはるか}中嶋日香議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 児童館の設置について

^{いのうえまなか}
ただいまの井上愛栴議員のご質問にお答え申し上げます。

児童館の設置についてであります。児童館は児童福祉施設と呼ばれるものの1つで、地域の子どもたちに遊びを通して指導を行う施設ですが、井上議員ご指摘のとおり、現在、沼田市には設置されておられません。

子どもの育成を支援する児童館の設置については、子育て家庭を中心に以前からご要望をいただいております。本市では、まず、小学校に入る前の子どもたちが保護者と一緒に遊びに行ける場所として子育て支援拠点を3か所設置し、子育て中のお父さん、お母さんが小さな子どもたちを遊ばせたり育児相談をしたりできる場所として利用していただいております。

なお、その中の1つ「子ども広場」については、来年度オープンするテラス沼田に移転し、遊具や施設の充実を行う予定です。

また、小学生に対する事業としては、学童クラブや放課後子ども教室を開設し、放課後などを過ごす場所として、小学生の皆さんに利用していただいておりますが、現在のところ、自由に遊びに行ける場所の設置はありませんので、ご意見を参考にしながら検討していきたいと考えております。

以上申し上げまして、井上^{いのうえ}愛^{まな}椋^か議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 自然観光地・沼田について

ただいまの^{はやし}林^{さち}幸議員のご質問にお答え申し上げます。

自然観光地・沼田について、であります。本市には、玉原高原や吹割の滝などに代表される自然や、フルーツ狩り、温泉やスキー場など、四季折々の観光素材が豊富にあります。

観光入込客数は、NHK大河ドラマ「真田丸」が放送された平成28年度は320万人を超え、現在でも約300万人の観光客が訪れています。

特に、本市の観光農園数は全国3位で、いちご、さくらんぼ、ブルーベリー、ぶどう、りんごなど一年を通じてフルーツ狩りが楽しめます。また、ぐんま名月や陽光、スリムレッドなど沼田生まれのりんごも大変好評です。

りんご狩りを若い皆さんにも楽しんでいただけるよう、おしゃれなアウトドア用具の貸し出しを行う「ぬまたピクニック」という取組を

はじめました。Instagramに楽しい写真を投稿していただき、新しいフルーツ狩りの楽しみ方が発信されています。

^{はやし}林 議員ご提案の「森林公園」なども参考にさせていただきながら、より多くの方に訪れていただけるよう沼田市の観光素材に更に磨きをかけていきたいと考えております。

以上申し上げます、^{はやし さち}林 幸議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 学校のクーラーの設置について

ただいまの千明^{ちぎら}玲雄^{れお}議員のご質問にお答え申し上げます。

学校のクーラーの設置についてであります。現在、市内全ての小中学校の保健室、パソコン教室にはクーラーが設置されておりますが、千明^{ちぎら}議員のご指摘のとおり、普通教室へのクーラー設置は進んでいない状況です。

学校衛生環境基準が定める、望ましい教室の温度基準は「17度以上から28度以下」と示されていますが、本年行った市内小中学校の普通教室の温度調査では、全ての学校が、28度を超えるとても暑い状況でありました。

このような結果から、皆さんに学校生活を元気に過ごしていただくためには、クーラーの設置は有効な手段であると考えております。全ての学校にクーラーを設置するためには、多額の予算が必要になるなどの課題もありますが、安全に学習できる学校環境の整備について検

討を進めてまいりたいと考えております。

以上申し上げます、^{ちぎられお}千明玲雄議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 沼田市の人口について

ただいまの^{おかや}岡谷 ^{そうた}颯太議員のご質問にお答え申し上げます。

まず、沼田市の人口の変化についてですが、平成17年9月30日現在の人口55,503人に対して、平成29年9月30日の人口は、49,259人となっており、12年間で6,244人が減少しています。また、平成27年10月に策定した「沼田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の推計では、42年後の2060年の沼田市の人口は、20,104人にまで減少すると推計しています。

このため沼田市では、平成27年10月に「沼田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、平成29年3月に「沼田市第六次総合計画」を策定し、急激な人口減少を抑制するために、これらの計画の中で様々な取り組みを掲げています。

具体的な取り組みとしては、雇用対策・産業振興対策として、新産業の創出や地域企業の雇用拡大、沼田市で働きたい若者の就職支

援などを行っています。

また、移住・定住対策として、田舎暮らしに興味のある首都圏在住の方を対象に、田舎体験ツアーや移住相談会などを実施するとともに、結婚・子育て対策として“婚活”イベントの実施や、放課後や夏休みなどの時間を子どもが安心して過ごせる居場所となる学童クラブの設置などを行っています。

^{おかや}岡谷議員のご意見にもありますとおり、豊かな自然や歴史・文化などの本市の魅力を多くの方々に知っていただき、沼田市に足を運んでいただくとともに、今後沼田市に移住していただけるよう、様々な取り組みを進めていきたいと考えています。

以上申し上げまして、^{おかや}岡谷 ^{そうた}颯太議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 terraceでの災害時の対応について

ただいまの^{よしのあやみ}吉野亜弥美議員のご質問にお答え申し上げます。

まず、災害等に備えた「テラス沼田」の機能についてであります。市では、「グリーンベル21」を複合施設として活用するため、来年5月7日の供用開始に向けて、現在、整備改修工事を進めており、災害時には、市民の安全を守る防災拠点として対策本部を設置するとともに、1階を防災広場として、雨水を利用し、断水時でも利用できる防災対応のトイレや防災備品庫を設置するほか、停電時の対応として、非常用発電機を整備するなどの対策も講じています。

次に、日常的に利用できる主な施設についてであります。1階には、賑わいを創出するため、多目的な利用にも対応可能なイベントスペース「まちの広場」をはじめ、障害者の働く場として「福祉ショップ・カフェ」と「あおぞら作業所」を一体的に整備するほか、2階には、本市初の「歴史資料館」を新設し、市庁舎については、3階から

5階に集約する計画となっています。

このほか、6階には市民活動やボランティア団体の拠点施設「市民活動センター」と子育て支援のための拠点となる「子ども広場」を保健福祉センターから移設拡充するとともに、創業を支援するための「インキュベーションオフィス」を設置し、7階には市民の健全な心身の発達と健康的な生活の向上を図るため「トレーニングプラザ」を整備するほか、1階に商業テナント3店が出店し、ハローワーク沼田やジョブカフェぐんま北毛サテライト、沼田市社会福祉協議会、沼田商工会議所なども移転する計画です。

現在は分散し、老朽化している市役所等の移転・集約をはじめ、多様な世代の市民活動を支援する施設を整備するとともに、商業・業務機能も備えた複合施設として、多くの皆さんに親しまれ、活用していただける施設となるよう準備を進めております。

以上申し上げまして、^{よしのあやみ}吉野亜弥美議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 沼田市の明るい街づくりについて

ただいまの ^{さかぐち}坂口 ^{ひより}稟和 議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市では、蛍光灯の防犯灯から、電気の消費量が少なく明るいLED防犯灯へ付け替えを実施しています。

防犯灯の設置については、地域の代表者である区長さんと相談をしながら、設置場所の確認を行い必要性の高い箇所から、計画的にLED防犯灯の新設を進め、夜間でも安全に通行できるように設置を進めております。

次に、空き地を公園にして欲しいについて、であります。現在、沼田市では、沼田公園をはじめ28箇所の都市公園や緑地を設置しております。その外にも森林公園や農村公園などに区分されるものが存在し、地域の方々にご利用いただいております。

空き地を公園にするには、用地を確保する必要や広場の整備など地域の皆様のご理解やご協力が不可欠となります。

また、多くの人々が利用しやすい場所に、適切に公園を設置することが重要であり、現在ある公園は、このような考え方に基づいて整備したものでありますが、公園が設置されていない地域もありますので、空き地を活用するなど各地域への設置バランスを考慮しながら、子ども達が安心して遊べる公園整備に努めてまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、坂口 ^{さかぐち} 稟和 ^{ひより} 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 誰もが平等に勉強できる環境づくりについて

ただいまの^{おいけ ゆら}尾池 結来議員のご質問にお答え申し上げます。

誰もが平等に勉強できる環境づくりについてであります。子どもの平等な学習機会の提供は、放課後の居場所づくりも含め、国でも重要な課題と^{とら}捉え、すべての子ども・若者が^{すこ}健やか成長し、自立・活躍できる社会を目指すため、地域と学校の連携・協働の推進により、地域における学習支援に取り組むこととしています。

現在、本市には無料で学習支援を行う場所が1か所ありますが、誰でも自由に学習指導を受けられる施設は、現在のところありません。

尾池議員のご指摘のとおり、誰もが勉強したいときに勉強できる環境は、子どもたちの健やかな育成のため重要なことでもありますので、いただいたご意見を参考に、今後、研究していく必要があると考えております。

以上申し上げます。 ^{おいけ ゆら}尾池 結来議員のご質問に対する答弁とさせ

ていただきます。

1 学校の教育活動に関すること

ただいまの^{さかにし}坂西^{ゆら}優良議員のご質問にお答え申し上げます。

学校の教育活動に関することについてであります。学校の図書室にある本を活用して、興味のあるものを読んだり、調べ学習を進めたりすることは、自分の知識を広げたり、考えを深めたりする上で大切なことであり、そのための図書室の環境が整備されることは大変重要なことでもあります。

^{さかにし}坂西議員のご指摘のとおり、学校の図書室に図書館司書のような専門の方がいてくれることは、自分の興味ある本を探したり、調べ学習をしたりする上で大変有効であります。現状ではそのような方は配置できておりません。その代わりとしまして、本市では、学校の図書室がみなさんにとって使いやすいものにするために、「図書丸ねっ」という、本の管理システムの導入を平成２７年度から進めています。このシステムによって、自分の必要とする本の「キーワード」を

入力すると、該当する本の一覧がパソコンの画面上に表示されますので、各学校の図書室が、これまで以上に活用しやすいものになると考えております。 図書室の環境整備については、専門の方の配置を含めて、引き続き研究したいと考えております。

以上申し上げまして、坂西^{ゆら}優良議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 沼田市の地震対策について

ただいまの ^{おざき}小崎 ^{りこ}理子 議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の地震対策としては、防災マップ・土砂災害ハザードマップを各家庭に配布するほか、避難場所や地震に対する安全対策などについて、ホームページ・広報ぬまた・暮らしの便利帳などに掲載し、日頃から地震への安全対策をしていただけるよう市民へ周知しています。

また、建物等への対策としては、公共施設では学校施設を優先して耐震化を図り、その他の施設は計画的に耐震化を推進するとともに、民間施設では、耐震基準に適合しない木造住宅を対象に、耐震診断や耐震改修工事に対して補助を行うほか、高齢者世帯及び障害者と同居する世帯に対して、耐震シェルターや防災ベッドなどを設置する場合について補助を行っています。

更に、ブロック塀の安全点検につきましては、ホームページや広報ぬまたにより市民へ周知するとともに、公共施設のブロック塀は、安

全点検により危険箇所の補修及び撤去工事を実施しております。

そのほか、気象庁による緊急地震速報は、地震発生後大きな揺れが到達する前に発表され、全国瞬時警報システム（Jアラート）と連動して防災無線及び緊急告知FMラジオが自動的に起動し、即座に情報伝達を行うこととなっておりますので、緊急地震速報が発表された場合は、速やかに身を守る行動が取れるよう、安全確保に努めていただきますようお願いしております。

以上申し上げます、^{おざき}小崎 ^{りこ}理子 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 沼田市の観光について

ただいまのこじま はるか小 寫 陽 花 議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の観光について、であります。大河ドラマ「真田丸」が終了し、観光客は減少しましたが、それ以前とほぼ同じくらいの観光客が沼田を訪れております。真田丸の効果により「沼田」という地名が日本国内に広く知れ渡りましたので、その知名度を活用した観光キャンペーンやイベントの開催など様々な観光PRを行っております。

また、2020年に東京オリンピック・パラリンピックを控え、本市を訪れる外国人観光客も増加しており、英語の他、ほか中国語や韓国語などの多言語に対応したパンフレットや、外国人にもわかりやすいPR動画、ホームページなども作っております。

また、沼田公園入口にある観光案内所では、身障者用のスロープや駐車場、車いすの貸出も行っており、市内を案内する観光ボランティアガイドも常駐しております。観光案内所は年末年始以外、毎日営業

しており季節に応じた観光案内をしております。

冬は一年の中で一番観光客が少ない時期ではありますが、玉原スキーパークが最も集客していますので、スキー場の管理会社と協力して、外国人観光客を含めた誘客に努めてまいりたいと考えております。

沼田は、玉原高原や吹割の滝などの「自然」、寒暖の差が大きい気候が育む野菜や一年中楽しむことができるフルーツ狩りなどの「食」、真田氏や土岐氏に代表される「歴史」、「温泉」など豊富な観光素材があります。訪れていただいた方に満足していただき、また訪れたいと思っただけのような対応を心掛けるとともに、住んでいる皆さんにも地域に誇りを持っておもてなしをしていただけるまちにしていきたいと考えております。

以上申し上げます。小^こ島^{じま}陽^{はるか}花議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 沼田市の学習空間について

ただいまの ^{うぶかた}生方 ^{しゅうま}秀磨議員のご質問にお答え申し上げます。市内に誰でも利用できる学習空間を増やすことは可能でしょうか、についてであります。沼田市には図書館や中央公民館や地区公民館などの社会教育施設があり、図書館の読書室や中央公民館の一部を学習のために開放するなどしてきておりますが、それ以外の貸し出しや使用については、原則、団体での学習や社会の学びを重視していることや、施設の設置目的等を考えると、個人の学習空間を増やすことは難しいのが現状です。

しかし、他の自治体でも市の施設を開放する事例や、まちの活性化のため、空き店舗等を学習室として整備する事例もありますので、今後、庁舎の移転に伴う市の施設の利用の見直しなども視野に、関係各課や関係機関等と連携し、^{うぶかた}生方議員ご指摘の、市内に誰でも利用できる学習空間を増やすことについて、研究してまいりたいと考えて

おります。

また、図書館の読書室の利用時間を長くすることは可能でしょうか、
についてであります。図書館の読書室は本来、図書館の資料を利用
した読書や学習のためのスペースではありますが、生徒を始めとした
市民の皆さんの資料の持ち込みによる学習にも利用していただいでい
ます。利用時間は図書館を開けている時間と同じで、その時間は、平
日は午前9時30分から午後7時まで、冬は午後6時までとしており、
図書の見学や貸出のために来館する市民の利用状況により設定してお
ります。読書室だけ利用時間を長くすることは、建物の構造や施設管
理のための経費などを考えるとやはり難しい状況ではあります。今
後、研究してまいりたいと考えております。

以上申し上げます。生方秀磨うぶかたしゅうま議員のご質問に対する答弁とさ
せていただきます。

1 歩行者の安全のために

ただいまの^{かわいあすか}河合明日香議員のご質問にお答え申し上げます。

歩行者の安全のために、についてであります。中心市街地である本町通りにおいて、かつてのにぎわいや活気を取り戻すため、土地を使いやすい形に並び替えながら、道路を広げたり広場などを整備する土地区画整理事業を実施しています。

この事業の実施により、天狗プラザ東の交差点から、テラス沼田がある下之町の交差点までの国道120号において、歩行者が歩きやすいように、歩道を4.5メートルに広くしたり、歩道と車道の間に境界ブロックを設置し、歩行者の安全を確保する予定となっております。

また、歩道の整備に併せて電線の地中化による無電柱化を進めることにより、都市景観の向上と災害に強いまちづくりを推進し、安心して快適な歩行空間の確保にも努めていきたいと考えています。

以上申し上げまして、河合明日香^{かわいあすか}議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 東京オリンピック・パラリンピックについて

ただいまの^{はせがわこうた}長谷川耀汰議員のご質問にお答え申し上げます。

東京2020オリンピック・パラリンピック大会開催に向け、沼田市は、大会参加国との人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、地域の活性化等を推進することを目的とした「ホストタウン」の登録を行い、ドイツフェンシングチームの事前合宿地に選ばれたことは、^{はせがわ}長谷川議員ご承知のとおりであります。

この「ホストタウン」の取組を推進し、まずは市民の方々にドイツのことを知っていただくとともに、ドイツをはじめとした世界に向け、沼田市の良さをPRしてもらうため、今年8月にドイツ人の国際交流員を迎えております。

今後、国際交流員が学校等を訪問しドイツを紹介したり、事前合宿には、海外選手や日本人選手と市民が交流を行う場の支援を行うなど、市民の国際交流機会の創出に努めるとともに、^{はせがわ}長谷川議員ご提案の

沼田市の観光スポットや特産品などを国内外に広く発信してまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、^{はせがわこうた}長谷川耀汰議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 インフルエンザワクチンについて

ただいまの^{ひらい}平井^{ゆみ}優美議員のご質問にお答え申し上げます。

インフルエンザワクチンについて、であります。昭和51年から小中学校、高校生を対象にワクチンの集団接種が行われるようになりました。しかし、インフルエンザの流行を押さえる効果ははっきりしないことや副作用の問題を受けて、平成6年に予防接種法が改正となり、集団での予防接種は中止となりました。

その後、重症化を防ぐため65歳以上の高齢者など一部でインフルエンザの定期予防接種が対象に加わっていますが、小中学校のみならずには、任意接種として個別に医療機関で接種してもらっています。

このようなことから、インフルエンザの対策としては、一人ひとりが、手洗いやうがいの習慣づけなど日常の衛生管理や、疲れた時には十分な休養をとるなどの体調管理を行い、予防に努めていただきたいと考えております。

以上申し上げまして、^{ひらいゆみ}平井優美議員のご質問に対する答弁とさせて

いただきます。

1 おうち診療所について

ただいまの^{よしはら}吉原えりか議員のご質問にお答え申し上げます。

おうち診療所について、であります。小児がんの治療にふさわしい病院を作ろうと医療関係者や患者の家族、まちづくりの専門家、建築家が集まって研究を重ね、２０１３年に多くの寄附により神戸市に家のような環境で治療を行う「おうち診療所」として知られる「チャイルド・ケモ・ハウス」が完成したことは承知しています。また、その取組がテレビのドキュメンタリー番組としても放送されました。

本市に「おうち診療所」を設置することは、小児科やがんの専門医師の確保、施設の設備投資など課題も多く大変難しい事業であります。

現在、市内の病院において、がん末期患者に対して緩和ケアチームが配置されたり、住み慣れた家で病気の治療を行えるように在宅医療と介護の連携を図る事業も推進しております。このような取組も進められておりますので、機会を捉えて関係機関に^{よしはら}吉原議員のご提案を

伝えてまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、吉原^{よしはら}えりか議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 ごみに関する対策について

ただいまの^{うぶかた}生方 ^{りん}凛議員のご質問にお答え申し上げます。

ごみに関する対策についてであります。生方議員が通っている沼田小学校では、集団下校の際に、クリーン作戦として高学年を中心にゴミ拾いに取り組むなど、日頃から地域の環境美化にご理解とご協力をいただいていることに深く感謝申し上げます。

本市では、平成25年10月に「くらしの環境美化条例」を制定し、ポイ捨ての禁止や犬猫などのふんの放置禁止など、環境美化に努めて参りました。また、春と秋の年2回、市民の皆さんで組織されている「沼田市環境保健協議会」と連携して市内一斉清掃を実施しており、29年度は合計2万3,913人の方々にご参加いただき、約61トンのごみが集められました。このほか、町内会や育成会などのボランティア活動としてもゴミ拾いなどを実践していただいております。日ごろから多くの市民の皆さんに環境美化へのご協力をいただいております。

一方で、ごみのポイ捨ても依然として見受けられ、廃棄物の不法投棄などにもつながる大きな問題であると考えております。こうした心ない行為をなくすためには、自分たちの街は自分たちできれいにし、住みよい街にするという一人ひとりの意識が大切であり、市では、不法投棄防止看板やポイ捨て防止看板を作成し、必要に応じて区長さんなどに設置していただき、環境美化についての啓発も行っております。

また、マイバッグを持参したり、必要な物だけを買うなど、ごみそのものを減らす「リデュース」、一度使った物を簡単に捨てないで何回も繰り返し使う「リユース」、いらなくなった物を分別して再び資源として利用する「リサイクル」、この三つのキーワードの頭文字をとった^{スリーアール}3 R運動を推進し、ごみの減量化に努めているところです。

いずれの取り組みも、皆さんの協力があって初めて効果が上がるものばかりです。今後も、市民の皆さんと共に、人と自然にやさしい持続可能なまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、^{うぶかた}生方 ^{りん}凛議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 沼田市の6次産業について

ただいまの藤井千鶴議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市は、昼夜の寒暖差の大きい果樹栽培に適した気候と首都圏からの交通アクセスの良さを活かして、関東一の観光農園数を有しており、例年多くの観光客の皆さんが本市を訪れております。

中でもりんごは、群馬県一の生産面積を誇る本市の特産品となっております。

こうした観光果樹園では、良質な果実を生で販売するのはもちろんジュースやジャムにしたり、最近ではパイやクレープなどのお菓子にして提供する農園さんも現れております。

また、市でも知名度のある特産品であるりんごを活用して、商品を作りたいと考え、りんごのフリーズドライ製品である「クリスピーアップル」やりんごを利用したシロップ「アップルドロップ」を開発しており、いくつかの農園で販売しております。また、市のお菓子組合

と開発した「上州ぬまた真田兵糧丸」にもりんごを活用していただいております。

魅力的な商品を開発することは簡単ではありませんが、代表的な作物であるりんごを6次産業に活かしていく考えは、非常に重要であると考えております。

^{ふじい}藤井議員の提案にありますように「沼田」の名称を活かした商品名の考案など沼田の知名度を上げるために、今後も推進してまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、^{ふじい ちづる}藤井千鶴議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 教育目標とその達成への活動について

ただいまの^{まにわしおり}眞庭詩織議員のご質問にお答え申し上げます。

教育目標とその達成への活動についてであります。各学校では、子どもたちのよりよい成長を願って、教育目標を設定し、目標の達成に向けて、各教科等の学習や学校行事、委員会活動や児童会・生徒会活動等が行われております。

また、市内の先生方は会議や研修会等で、様々な事項について話し合う機会を大切にしており、その中で、各学校の教育目標や学校行事でどんなことが行われているのか、分かりやすい授業のためにどんな工夫をすればよいのか、情報交換を行っております。

このことによって、他の学校のよさを取り入れたり、自分の学校の課題を見直したりして、各学校の教育活動をよりよいものにしております。

^{まにわ}眞庭議員のご指摘のとおり、各学校での取組が他校へ紹介さ

れる機会は、本市としても大切にしているところであり、今後も市内の学校で情報交換をする機会を大切に、学校教育の充実を図りたいと考えております。

以上申し上げます、^{まにわしおり}眞庭詩織議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 沼田市の活性化について

ただいまの^{ほりかいと}堀海斗議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田まつりでは、年々屋台の減少に伴って客足が遠のいている印象だが、この問題についてどのようにお考えか、についてですが、沼田まつりは毎年8月3日、4日、5日に開催し、平成30年度は3日間で約23万人の人出がありました。ここ数年は開催される曜日に関わらず、23万人以上の人出で賑わっています。

ただし屋台などの露店商については、水・木・金曜日開催の平成28年は138店、木・金・土曜日開催の平成29年は120店、金・土・日曜日開催の平成30年は95店でした。これは、県内の高崎まつりや桐生まつりが8月第1週の土日開催であることが影響していると考えられます。

いずれにいたしましても、沼田市最大のイベントである沼田まつりを今後も維持発展させていくためには、地域の皆さんに参加していた

だき、力を合わせていただくことが重要です。

あわせて、これまで以上に積極的に沼田まつりをPRすることで、市外の方にも沼田まつりを楽しんでいただきたいと考えています。

また、おまつりボランティアなどにも積極的に参加していただき、若い皆さんの力で沼田まつりを盛り上げていただければ、沼田市の活性化に繋がると考えております。

以上申し上げまして、堀海斗ほりかいと議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 「沼田のごみに関すること」について

ただいまのおぐろ ゆうた小黒悠太議員のご質問にお答え申し上げます。

「沼田のごみに関すること」についてであります。まず、平成2年に埋め立てを開始した上川田最終処分場は、埋立残容量がわずかとなったため、平成24年10月から新たな埋め立てを休止しています。

現在、各家庭から出される燃やせないごみは、いったん上川田最終処分場に搬入し、職員が手作業で、硬質プラスチックなどリサイクルが可能なものと、コンクリートブロックなど埋立以外に処理できないものとの再分別し、それぞれ専門の民間施設に処理を委託しており、全体の90パーセント以上が、建設資材として再生利用されたり、高温処理することで発生する「ガス」などを利用した発電なども行われております。

また、新しい処分場についてですが、将来の人口減少などを見据え、最終処分場だけでなく、焼却施設やリサイクル施設など全てのごみ処

理施設について、群馬県一般廃棄物処理広域化マスタープランに基づき、国や県の指導を受けながら利根沼田地域の施設の在り方について、利根郡の町村とともに総合的な検討を進めております。

次に、黄色の袋の「指定プラスチック」についてであります。市では、「プラマーク」のついた容器包装プラスチックを各家庭で指定プラスチックとして分別していただいています。こうして集められた容器包装プラスチックは、全て国内のリサイクル事業者へ運ばれ、ごく一部のリサイクル出来ないものを除いて、スーパーのかごや公園にある^{ぎぼく}擬木のテーブル、マンホールの^{ふた}蓋など、新しいプラスチック製品として生まれ変わっています。

限りある資源を有効に活用し、人と自然にやさしい循環型社会を構築していくためには、一人ひとりの小さな積み重ねが欠かせません。これからの社会を担っていく皆さんに、一層のご協力をお願いします。

以上申し上げまして、^{おぐろゆうた}小黒悠太議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。